

令和7年度 国営土地改良事業再評価

国営かんがい排水事業
三方原用水二期地区

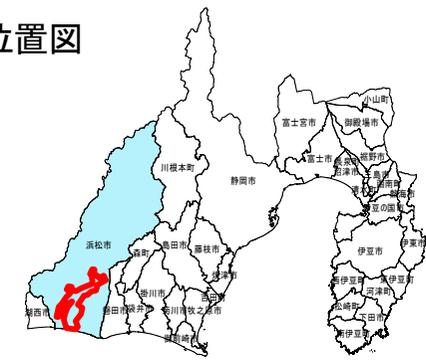
令和7年5月20日

農林水産省 関東農政局

1. 地区概要

- 関係市 : 静岡県 ^{はままつし} 浜松市
- 受益面積 : 3,310ha (水田 638ha、畑 2,672ha)

位置図



□ : 三方原用水二期地区受益範囲

- 浜松市は、交通利便性に優れた立地条件から首都圏や中京圏への重要な農産物供給基地となっており、全国でも有数の農業産出額を誇る。(全国6位)
- 三方原用水は、国営三方原土地改良事業(昭和35年度~昭和45年度)において、都市化に伴う上水道供給事業と工業発展に向けた工業用水道事業との共同事業により造成され、今や地域の農業のみならず、地域住民の生活、経済にとって無くてならない存在。
- 本地区は、南海トラフを震源とする大規模地震が想定され、地震防災対策強化地域(東海地震)及び地震防災対策推進地域(東南海・南海地震)に指定されている。



かんしょ (路地栽培)



みかん (路地栽培)



三方原ばれいしょ (路地栽培)



たまねぎ (路地栽培)



ちんげんさい (施設栽培)



ガーベラ (施設栽培)

2. 事業計画の概要①(地区における課題)

1) 施設の老朽化

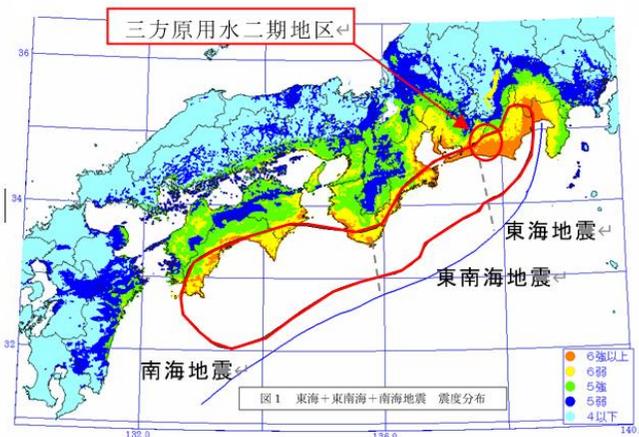
- 基幹的農業水利施設は築造後50年以上が経過していることから、ひび割れや鉄筋の露出、目地からの漏水など施設の老朽化が進行しており、**農業用水の安定供給に支障をきたしている**。また、**維持管理においても、多大な費用と労力を要している**。



水路橋目地部からの漏水



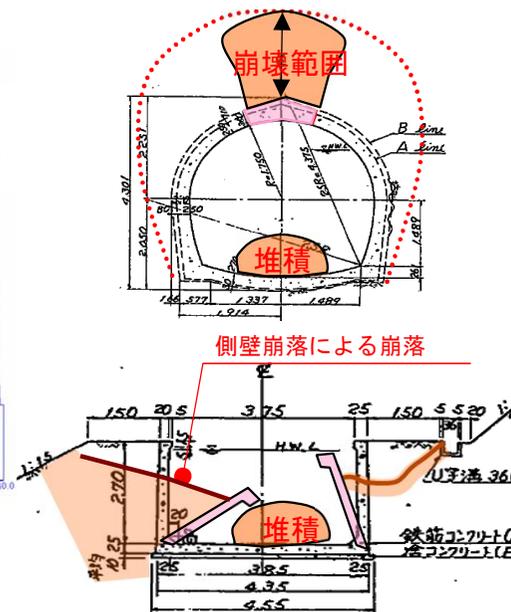
開水路側壁の摩耗状態



3連動地震の想定震度分布図

2) 大規模地震対策

- **南海トラフを震源とする大規模地震が想定**され、地震防災対策強化地域(東海地震の大規模地震対策特別措置法に基づく)及び、地震防災対策推進地域(東南海・南海地震の防災対策特別措置法に基づく)に指定されているため、**想定される対象地震に対し耐震対策が必要**である。



地震時の水路被害想定

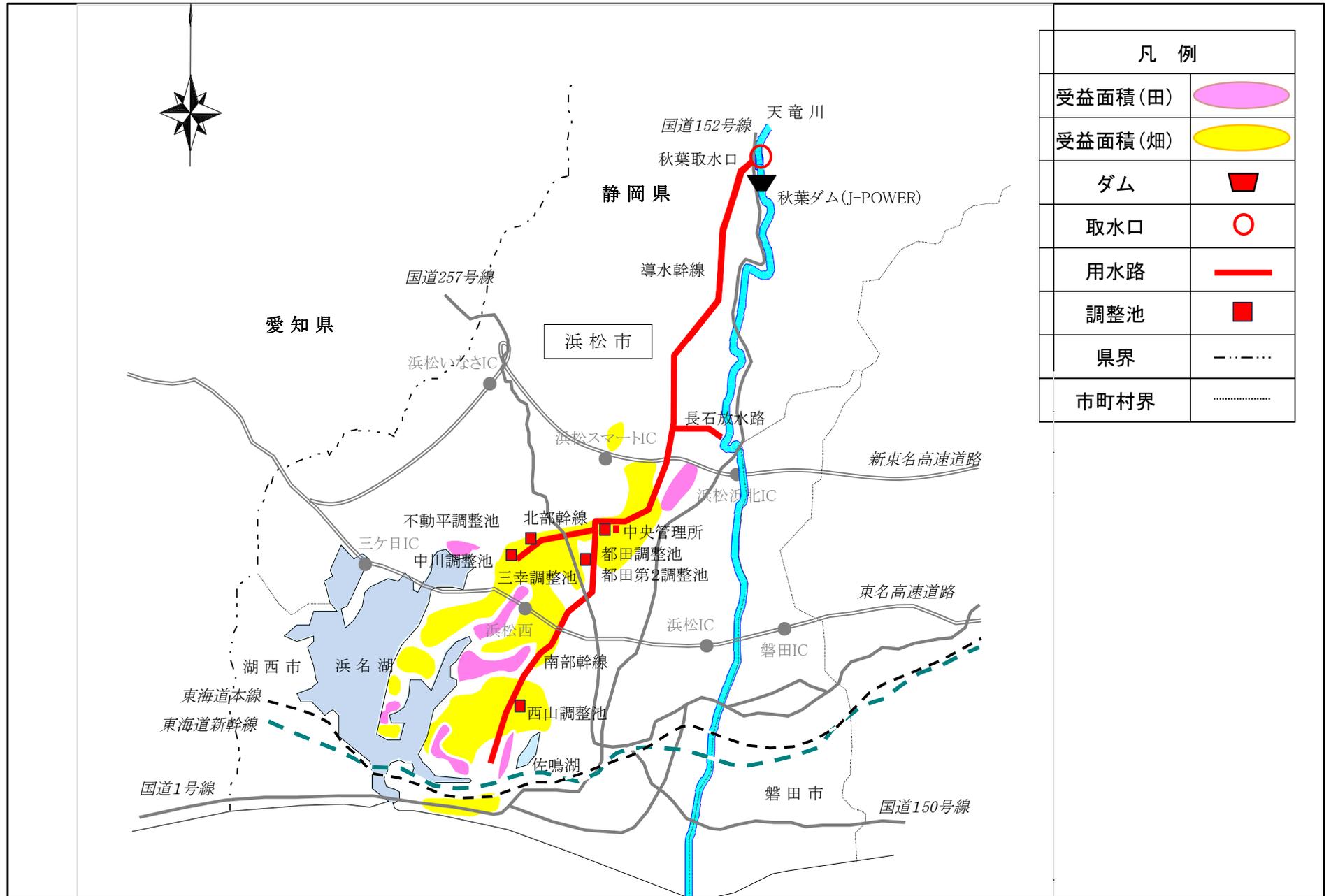
- 老朽化や大規模地震によって施設崩壊など発生した場合、送水を行うことが困難となり、地域の農業生産に支障を来すだけでなく、上水(水道用水の3割)、工水(76社)への影響が及ぶことになる。
- このため、農業用水の安定供給による農業生産性の維持・向上や維持管理の軽減を図るとともに、上水・工水の重要なライフラインを確保するため、施設の更新整備や耐震対策を行うことが必要である。
- また、近年の多様な営農形態に対応するため、より即応性のある高度な用水管理が求められている。

2. 事業計画の概要②(事業の目的)

- 本地区の農業水利施設は、国営三方原土地改良事業(昭和35年度～昭和45年度)等で造成された。経年的な施設の劣化により、頭首工の取水水門においてはコンクリートのひび割れ等、用水路においてはコンクリートのひび割れや欠損、目地の開きによる漏水が生じるなど、農業用水の安定供給に支障を来すとともに、施設の維持管理に多大な費用と労力を要している。また、用水路の一部は必要な耐震性を有していないことから、大規模地震が発生した場合には、農業用水の供給が困難になるなど、地域に甚大な被害を及ぼすおそれがある。
- このため、本事業では、用水路等の改修と必要な耐震化対策を行い、また、関連事業により支線用水路を改修し、農業用水の安定供給及び施設の維持管理の費用と労力の軽減を図り、農業生産性の維持及び農業経営の安定に資するものである。

| | | |
|--------|----------------------------------|--------|
| 国営事業費 | 17,285百万円 (令和7年度時点 18,621百万円) | |
| 受益面積 | 3,310ha | |
| 予定工期 | 平成27年度～令和8年度 | |
| 主要工事計画 | 取水口 | 1箇所 |
| | 用水路 | 39.2km |
| | 水管理施設 | 1式 |

2. 事業計画の概要③



3. 事業の進捗状況①

○事業の進捗率は、事業費ベースで87.2%(令和6年度まで)。

表 主要施設の予定工程

| 施設名 | 予定工程 | | | | | | | | | | | |
|-----------|------|-----|-----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 |
| (1) 取水口 | | | | | | | | | | | | |
| 秋葉取水口 | | | | | | | | | | | | |
| (2) 用水路 | | | | | | | | | | | | |
| 1) 導水幹線 | | | | | | | | | | | | |
| 2) 南部幹線 | | | | | | | | | | | | |
| 3) 北部幹線 | | | | | | | | | | | | |
| (3) 水管理施設 | | | | | | | | | | | | |

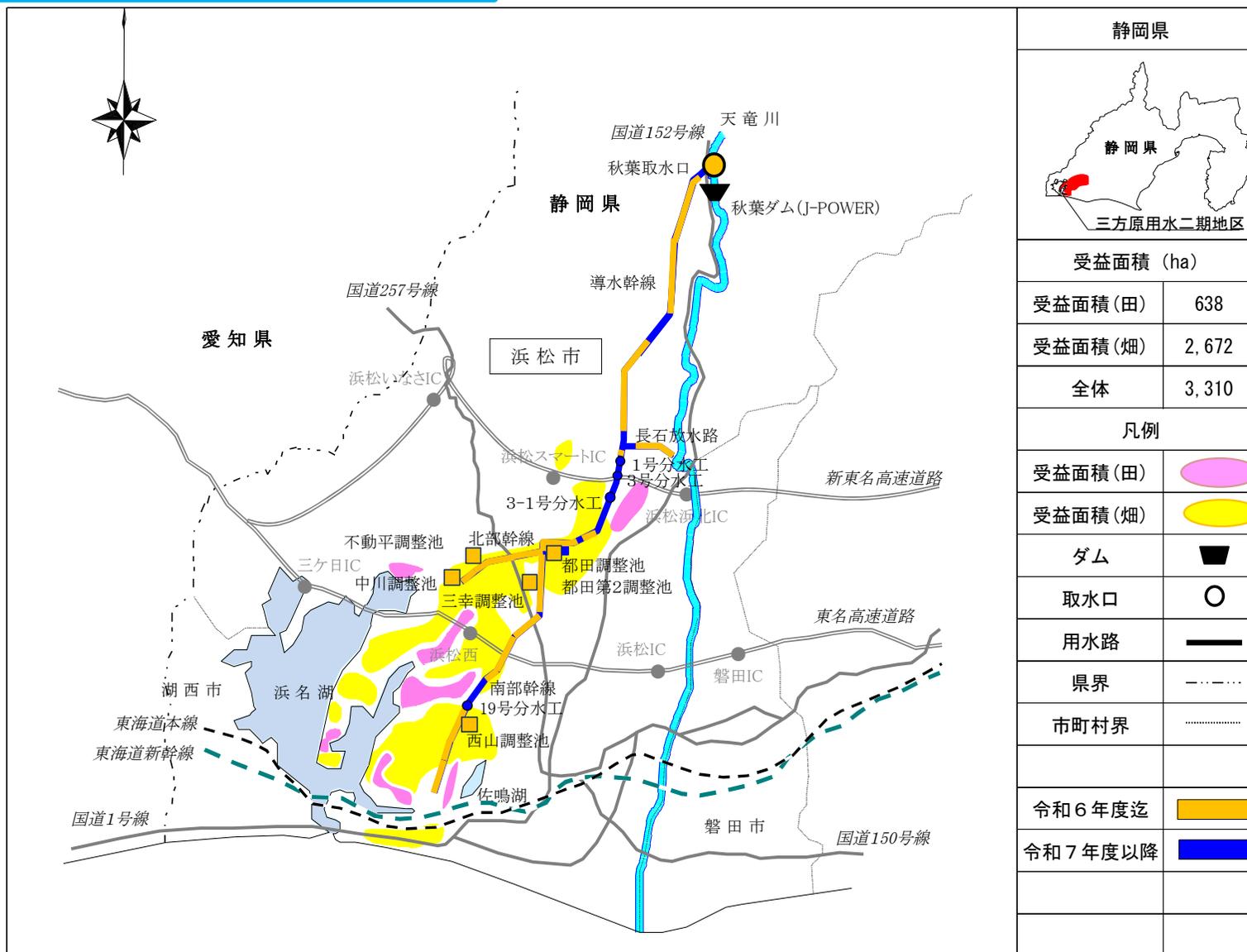
■ : 実施工程 ■ : 予定工程

表 事業費の進捗率

| | 事業費(百万円) | | 進捗率 |
|-------|-------------|-------------|-------|
| | 令和7年度 時点 | 令和6年 度まで | |
| 総事業費 | 18,621 | 16,241 | 87.2% |
| 工事費 | 12,760 | 11,083 | 86.9% |
| 取水口 | 637 | 573 | 90.0% |
| 用水路 | 11,135 | 9,788 | 87.9% |
| 水管理施設 | 988 | 722 | 73.1% |

3. 事業の進捗状況②

事業進捗図



3. 事業の進捗状況③

秋葉取水口
ゲート施工済



導水幹線(耐震対策)
施工済



導水幹線(耐震対策)
施工中



中央管理所
施工済



北部・南部幹線(老朽化対策)
施工済



調整池(新設)
施工済



4. 関連事業の進捗状況①

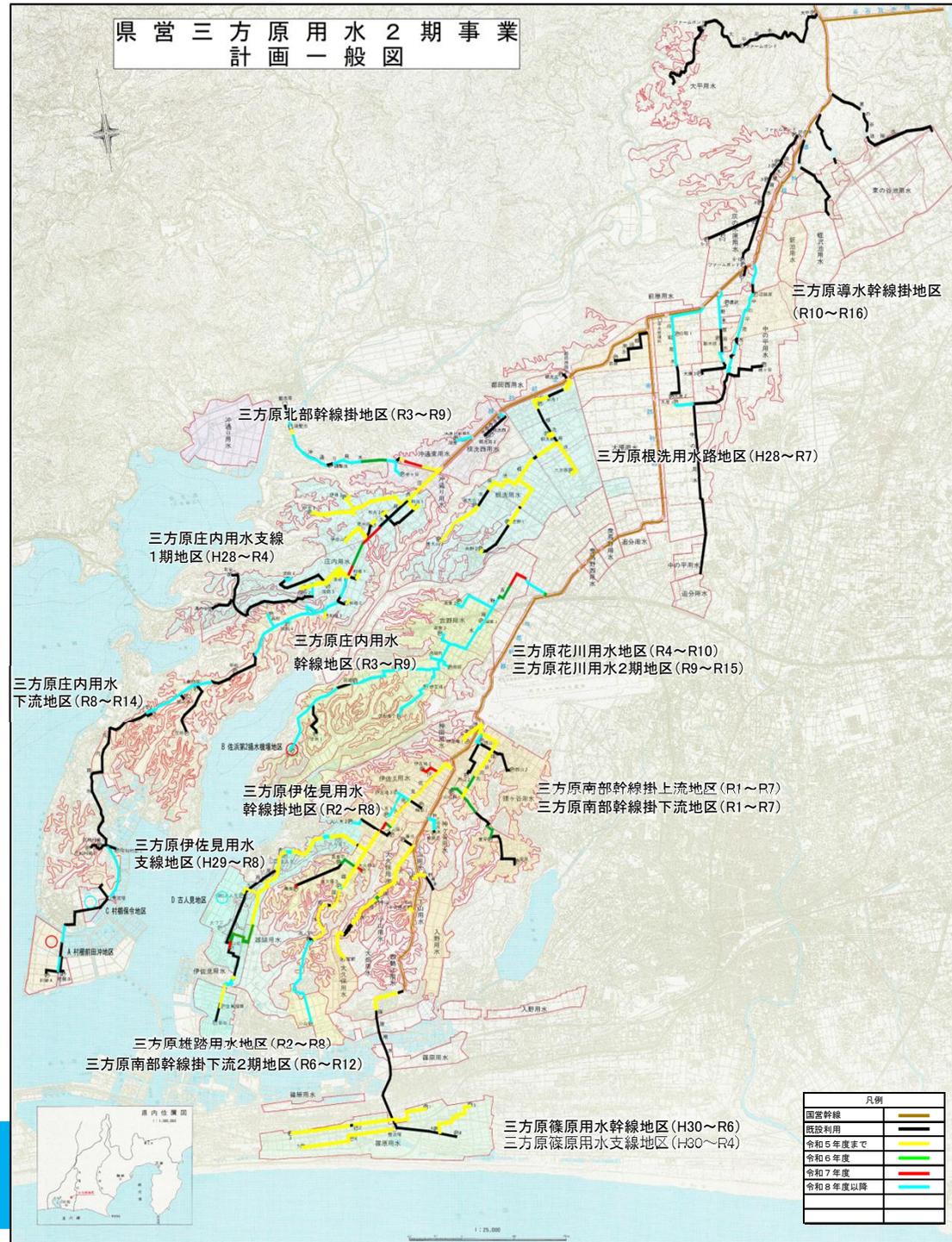
○令和7年度時点で、関連事業の進捗率は、事業費ベースで41.2%です。

○関連事業全16地区のうち、2地区が完了、11地区が実施中、残る3地区も令和10年度までに着手見込み。

国営かんがい排水事業に附帯する関連事業の事業管理調書(令和7年度)

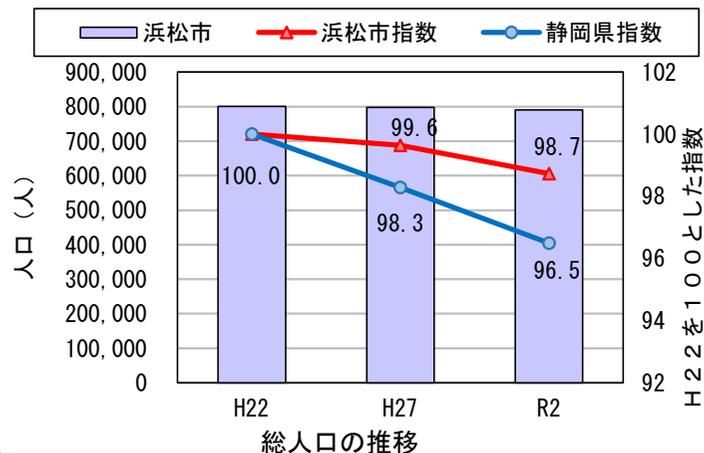
| 事業種別 | 予 定 地区名 | 総事業費 (百万円) | 受益面積 (ha) | 予定工期 | R6迄 支出済額 (百万円) | R6迄 進捗率 (%) | 未着手 継 続 完 了 の区分 | 予 定 実 施 年 度 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|------------------------|---------------|--------------|---------|----------------------|-------------------|--------------------------|-------------|---------|---------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | | | | | | | | 予 定 | | 実 施 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | H 27 | H 28 | H 29 | H 30 | R 1 | R 2 | R 3 | R 4 | R 5 | R 6 | R 7 | R 8 | R 9 | R 10 | R 11 | R 12 | R 13 | R 14 |
| 水利施設 保全高度 化事業 (9地区) | 三方原根洗用水路 | 1,101 | 216 | H28~R7 | 1,002 | 91.0 | 継続 | ←-----→ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 三方原庄内用水支線1期 | 578 | 362 | H28~R4 | 578 | 100.0 | 完了 | ←-----→ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 三方原南部幹線掛下流 (狸ヶ谷用水路) | 639 | 182 | R元~R9 | 453 | 70.9 | 継続 | ←-----→ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 三方原伊佐見用水支線 | 2,519 | 220 | H29~R9 | 1,142 | 45.3 | 継続 | ←-----→ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 三方原伊佐見用水幹線掛 | 2,110 | 347 | R2~R9 | 852 | 40.4 | 継続 | ←-----→ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 三方原雄踏用水 | 992 | 191 | R2~R9 | 718 | 72.4 | 継続 | ←-----→ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 三方原南部幹線掛上流 | 1,078 | 254 | R元~R9 | 949 | 88.0 | 継続 | ←-----→ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 三方原篠原用水幹線 | 761 | 134 | H30~R7 | 697 | 91.6 | 継続 | ←-----→ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 三方原篠原用水支線 | 417 | 134 | H30~R4 | 417 | 100.0 | 完了 | ←-----→ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 農山漁村 地域整備 交付金 (4地区) | 三方原北部幹線掛 | 1,084 | 225 | R3~R9 | 248 | 22.9 | 継続 | ←-----→ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 三方原庄内用水幹線 | 2,743 | 778 | R3~R9 | 895 | 32.6 | 継続 | ←-----→ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 三方原花川用水 | 1,967 | 301 | R4~R10 | 100 | 5.1 | 継続 | ←-----→ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 三方原南部幹線掛下流2期 | 697 | 185 | R6~R12 | 6 | 0.9 | 継続 | ←-----→ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 未 定 (3地区) | 三方原庄内用水下流 | 1,474 | 778 | R8~R14 | | | 未着手 | ←-----→ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 三方原花川用水2期 | 800 | 301 | R9~R15 | | | 未着手 | ←-----→ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 三方原導水幹線掛 | 580 | 649 | R10~R16 | | | 未着手 | ←-----→ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合 計 (16地区) | | 19,540 | 5,257 | H28~R16 | 8,057 | 41.2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

4. 関連事業の進捗状況②



5. 農業情勢、農村の状況その他の社会経済情勢の変化①

総人口



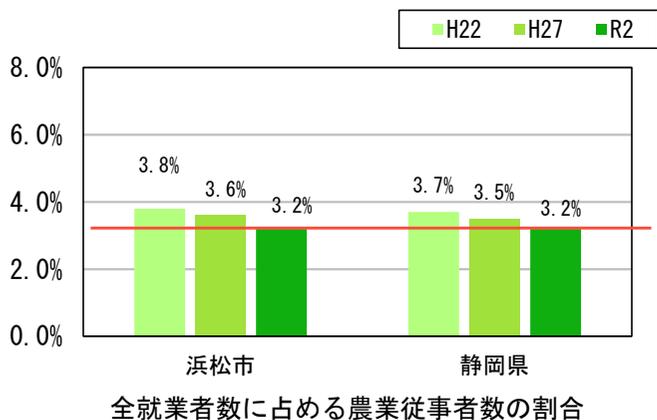
○浜松市の人口は、静岡県の減少傾向に比べてわずかな減少にとどまっている。

| | H22 | H27 | R2 | H22からR2の増減 |
|-----|-----------|-----------|-----------|------------|
| 浜松市 | 800,866 | 797,980 | 790,718 | △ 10,148 |
| 静岡県 | 3,765,007 | 3,700,305 | 3,633,202 | △ 131,805 |

(単位：人)

資料：国勢調査

産業別就業人口



○浜松市における農業就業者数は10年間(H22からR2)で2,216人減少(0.6%)、静岡県と同水準である。

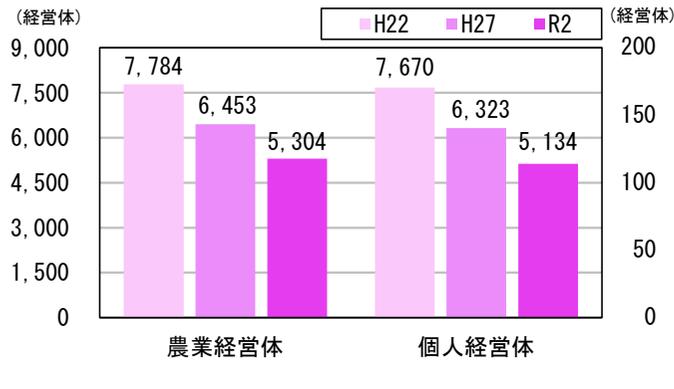
| | H22 | H27 | R2 | H22からR2の増減 |
|---------|---------|---------|---------|------------|
| 第1次産業 | 16,679 | 15,563 | 14,216 | △ 2,463 |
| うち農業就業者 | 15,346 | 14,322 | 13,130 | △ 2,216 |
| 割合 | 3.8% | 3.6% | 3.2% | |
| 第2次産業 | 137,287 | 134,582 | 134,995 | △ 2,292 |
| 第3次産業 | 236,259 | 249,229 | 249,229 | 12,970 |

(単位：人)

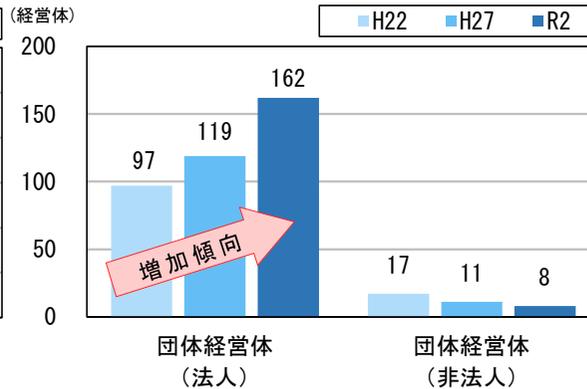
資料：国勢調査

5. 農業情勢、農村の状況その他の社会経済情勢の変化②

農業経営体数および経営規模



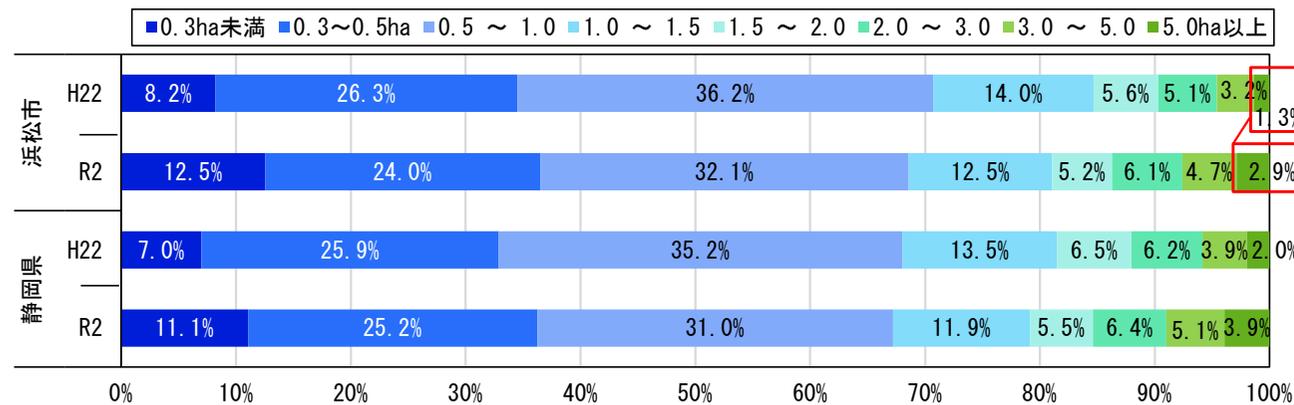
浜松市における農業経営体数の推移



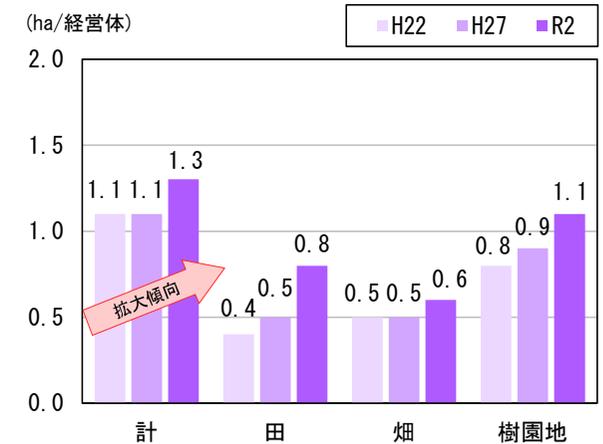
○浜松市の農業経営体数は年々減少している一方で団体経営体数(法人)は増加している。

資料：農林業センサス

○農業経営体数の総数は減少しているが、5.0ha以上の大規模な農業経営体数は増加しており(下左図)、それに伴って1経営体当たりの経営耕地面積は拡大傾向にある(下右図)。



経営耕地面積規模別農業経営体数割合



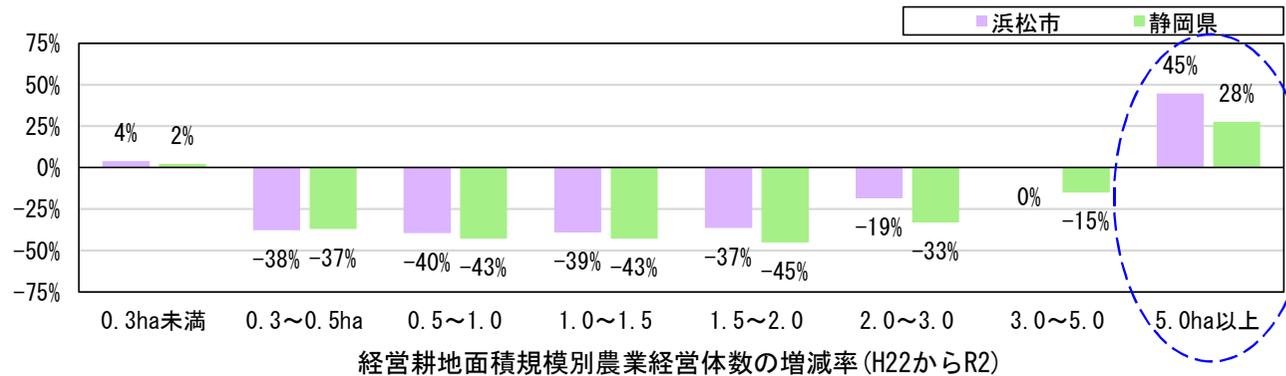
浜松市における1経営体あたり経営耕地面積の推移

資料：農林業センサス

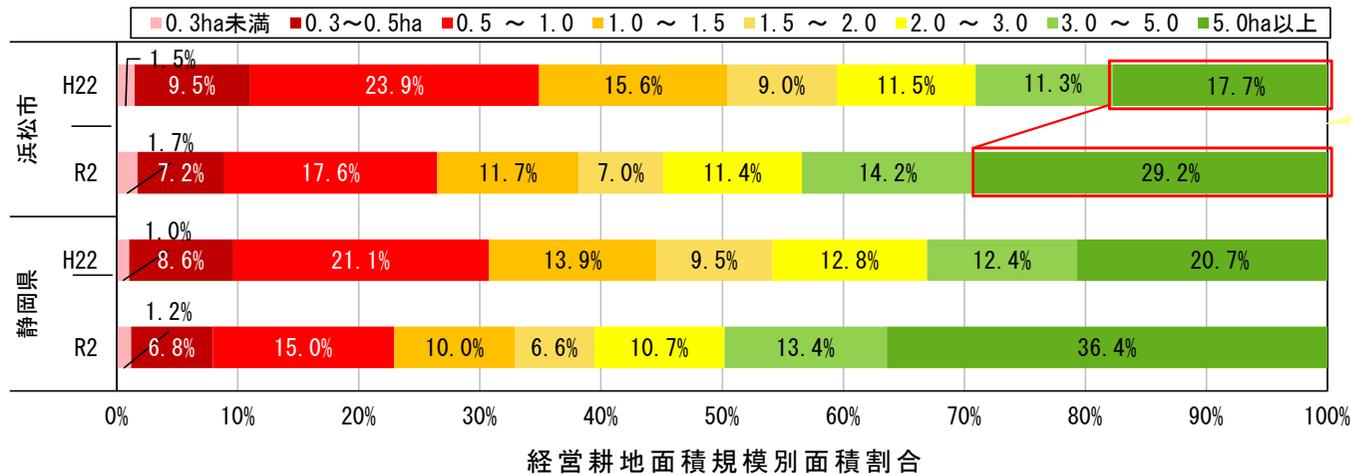
5. 農業情勢、農村の状況その他の社会経済情勢の変化③

規模別経営耕地面積の割合

○浜松市における経営規模5.0ha以上の大規模な農業経営体数が平成22年度から令和2年度にかけて45%増となっている(上図)。これに伴い経営規模が5.0ha以上の大規模な農業経営体の経営耕地面積割合は、経営体数の増加に伴い平成22年度から令和2年度の10年間で11.5%増加している(下図)。



5.0ha以上の経営規模を持つ経営体数が増加



11.5%の増加

資料：農林業センサス

5. 農業情勢、農村の状況その他の社会経済情勢の変化④

-地区内における生産組合・法人等の優良事例-

【経営の概要】

氏名 : スマイルファームスズキ園主 鈴木 健次 氏
主要作物 : スプレー菊
作付面積 : 畑 : 2,000坪 (0.7ha)
作型等 : ハウス周年栽培

【営農者概要】

- ①2000年(平成12年)からの新規就農
- ②農福連携の取組を実勢(穂摘み作業を依頼)
- ③周年の安定出荷実現のため、常時雇用者2名を雇用するとともに、土づくりに取り組む
- ④ハウス栽培では用水が必須



【経営の概要】

氏名 : ばれいしょ農家 倉田 薫 氏
主要作物 : ばれいしょ、だいこん
作付面積 : 畑 5ha
作型等 : 露地栽培(春夏ばれいしょ、秋冬だいこん)

【営農者概要】

- ①就農30年目であり、経営規模は徐々に拡大
- ②自宅から1km圏内の27ほ場で経営
- ③ばれいしょの肥大には用水が重要で、用水の有無は単収への影響が大きい
- ④ほ場の土壌が赤土で、ばれいしょの裏で作るだいこんは皮が薄くておいしいと評判
- ⑤連作障害を防止するための土壌消毒にも用水を活用



6. 事業計画の重要な部分の変更の必要性の有無

○事業着手からこれまで、事業計画の変更が必要な変動は生じていない。

- ①受益面積 事業計画時からの大幅な変動なし
(136ha減(4.1%) < 5%)
- ②事業目的別面積 事業計画時からの大幅な変動なし
(用水改良136ha減(4.1%) < 10%)
- ③主要工事 事業計画時からの変更なし
- ④事業費 事業計画時からの大幅な変動なし
(物価、労賃等の変動を除く) (1,065百万円 ÷ 14,863百万円= 7.2% < 10%)



計画変更実施の要件に該当しない

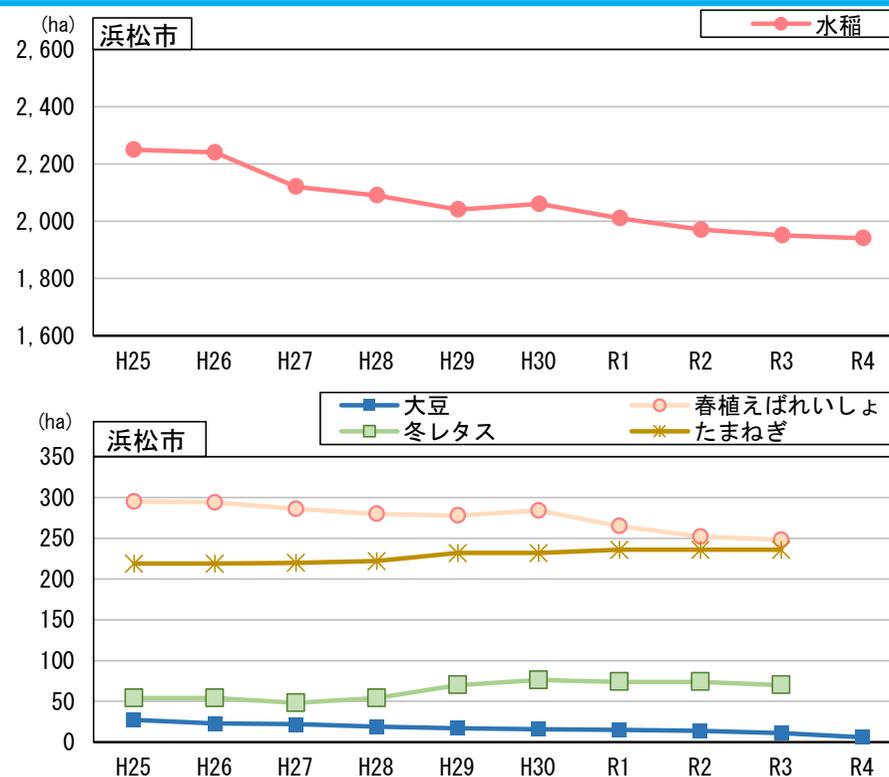
7. 費用対効果分析の基礎となる要因の変化

地域農業振興の方向性

静岡県及び浜松市の地域農業振興の基本方針については、本事業の着工当時から地域農業を取り巻く情勢の変化に合わせた見直しが行われているものの、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けて新たな担い手の育成・確保を図る等、地域農業振興の方向性に大きな変化はないことから、本地区の農業振興の方向性を取りまとめた営農計画についても見直しの必要性は生じていない。

作付面積①

- 水稲は、平成26年から令和4年まで緩やかに減少している。
- 本事業の実施に際して策定した営農計画において減少することとしていた春植えばれいしょの面積は、実態としても平成26年度以降緩やかに減少している。
- 一方、たまねぎ、冬レタスは増加傾向にある。



主要作物の作付面積の推移の推移

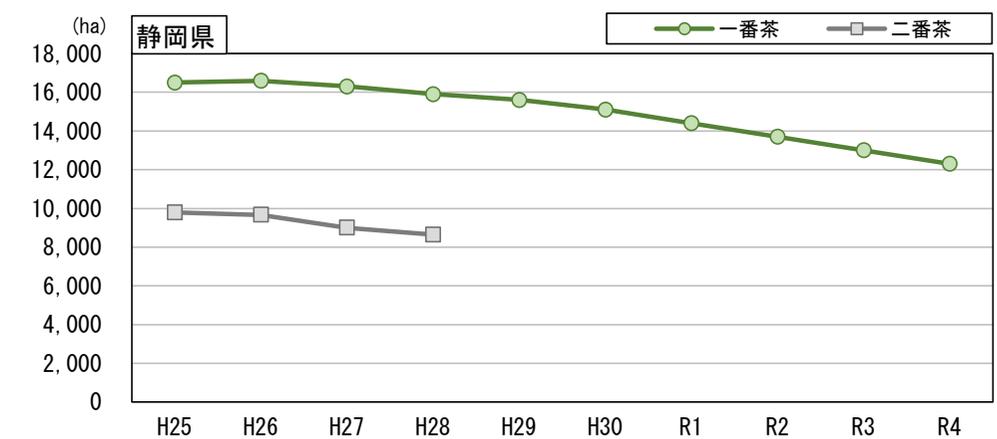
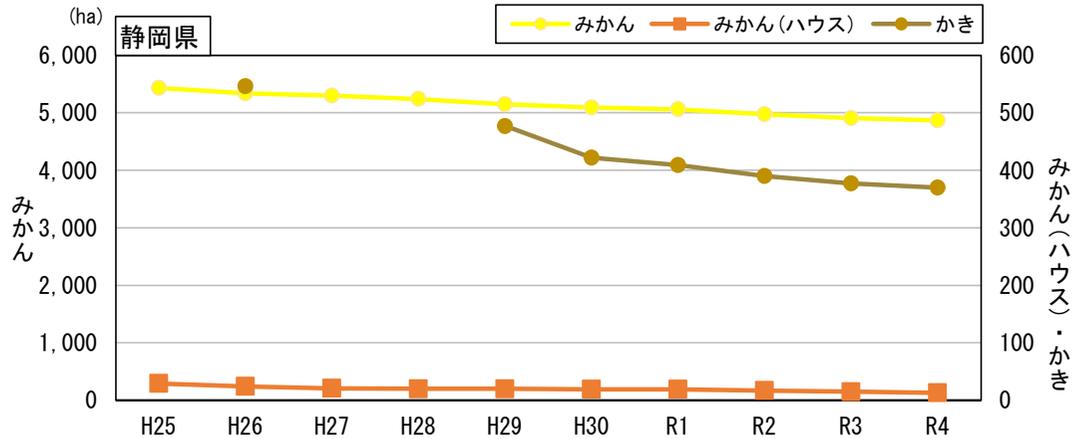
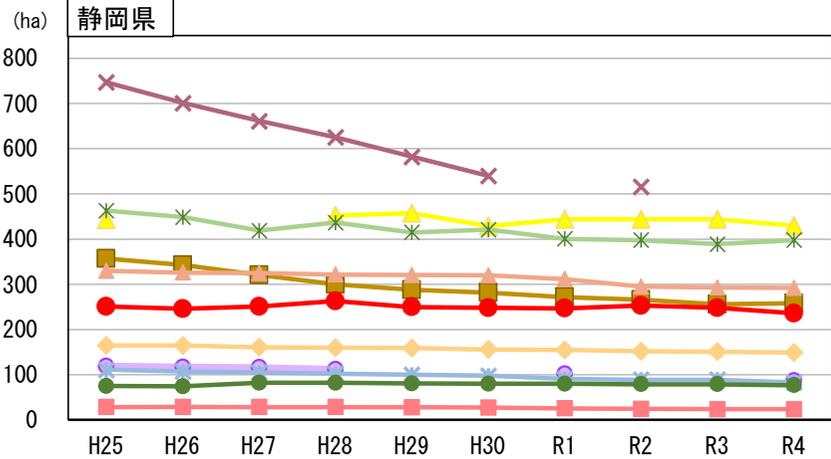
資料：作物統計調査 作況調査より

7. 費用対効果分析の基礎となる要因の変化

作付面積②

○かんしょ、一番茶は減少傾向にあるが、その他の本地区の主要作物は横ばいに推移している。

- なす
- さといも
- ▲ スイートコーン
- × かんしょ
- ＊ 秋冬だいこん
- トマト
- ▲ セルリー
- ▲ ちんげんさい
- みつば
- ◇ きく
- ガーベラ



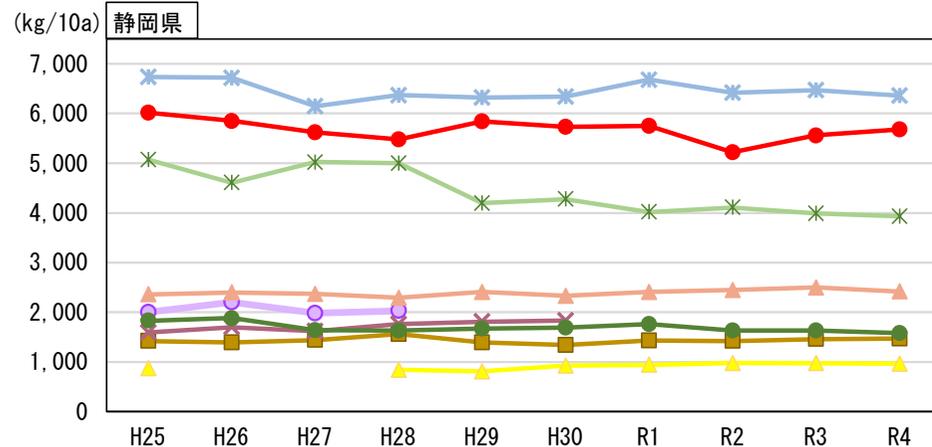
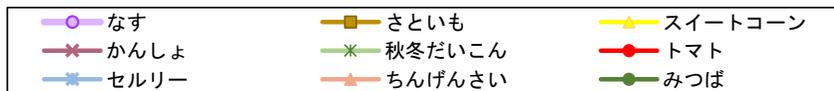
主要作物の作付面積の推移の推移

資料：作物統計調査 作況調査より

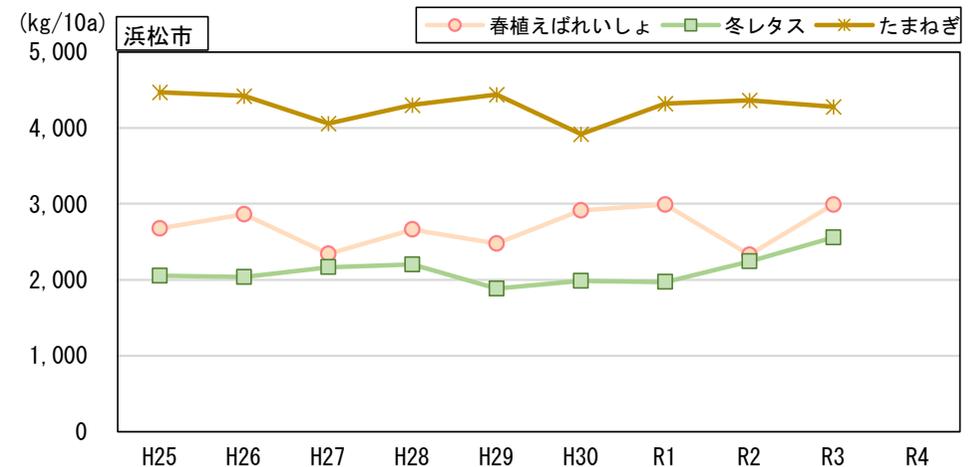
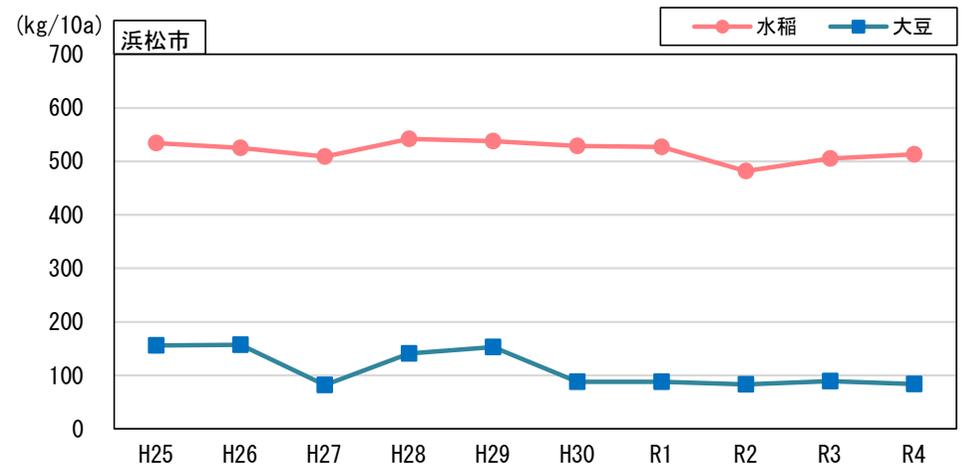
7. 費用対効果分析の基礎となる要因の変化

主要作物の単収

○当地区を代表するかんしょ、春植えばれいしょ、たまねぎ、スイートコーン、セルリー、ちんげんさい、秋冬だいこん、冬レタスといった園芸品目の単収は安定的に推移している。



主要作物単収の推移

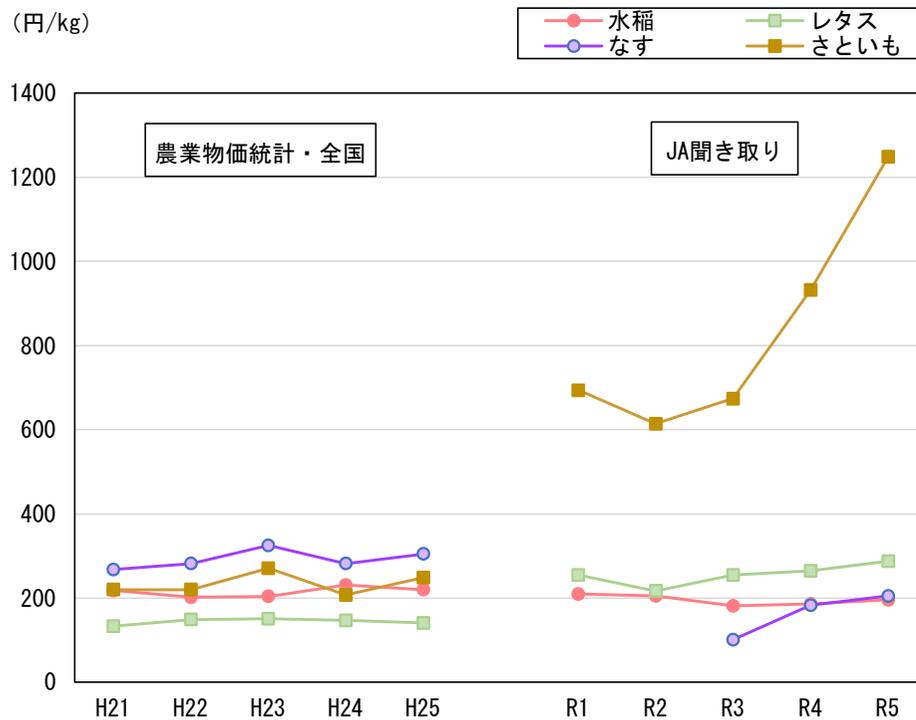


資料：作物統計調査 作況調査より

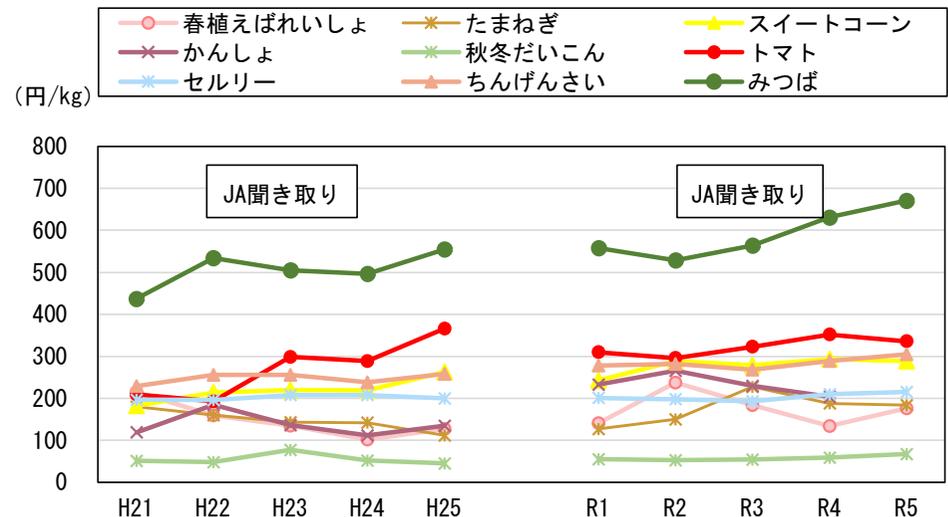
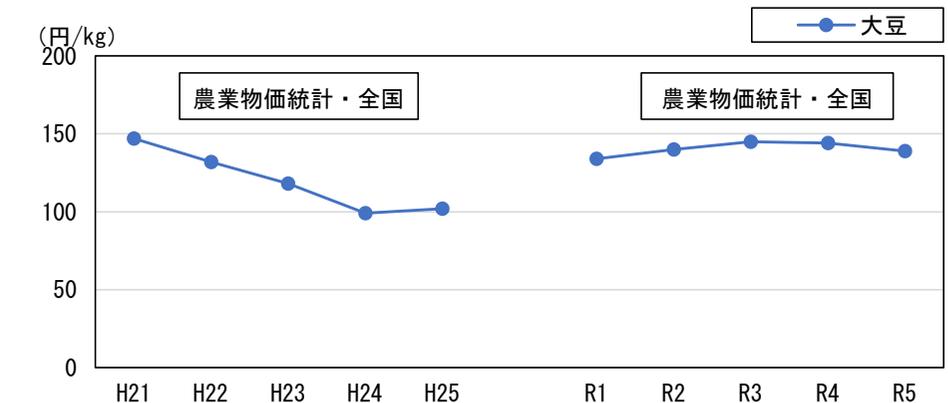
7. 費用対効果分析の基礎となる要因の変化

主要作物の単価

○水稲を始めとした当地区を代表する作物の単価は、年ごとの変動はあるものの、増加傾向にある。



主要作物単価の推移



資料：農業物価統計又はJA聞き取りより

8. 費用対効果分析の結果 -総費用総便益比-

本地区内において、評価期間の下で必要な投下費用(総費用：当該事業費＋関連事業費＋資産価額＋再整備費)と、それによって発現する総便益を対比した結果は以下のとおりである。

(単位：千円)

| 区分 | | 算定式 | 数値 |
|---------------------|------------------------|-------|-------------|
| 総費用(現在価値化) | | ①＝②＋③ | 108,828,693 |
| | 当該事業による再整備費用 | ② | 21,139,559 |
| | その他費用(関連事業費＋資産価額＋再整備費) | ③ | 87,689,134 |
| 評価期間(当該事業の工事期間＋40年) | | ④ | 52年 |
| 社会的割引率 | | | 4% |
| 総便益額(現在価値化) | | ⑤ | 190,499,922 |
| 総費用総便益比 | | ⑥＝⑤÷① | 1.75 |

(現計画時点からの効果の主な変動要因)

- ・ 基準年を平成25年度から令和7年度に変更したことによる総費用、総便益の増減。
- ・ 効果算定に用いる諸係数(純益率、支出済み換算係数等)の定期的な見直しに伴う効果額の増減。
- ・ 再評価時点における最新の統計データやJA等への聞き取り調査を行った結果、多くの作物で現計画時点と比べて作物単価が向上したことによる作物生産効果の増。
- ・ 大規模地震対策による効果のうち災害時における作物減産防止効果、災害時の湛水被害防止効果の算定除外による総便益の減。
- ・ 国産農産物安定供給効果の追加計上による総便益の増。

8. 費用対効果分析の結果 -年総効果額、総便益額の総括-

本事業の効果は以下のとおりある。

(単位：千円)

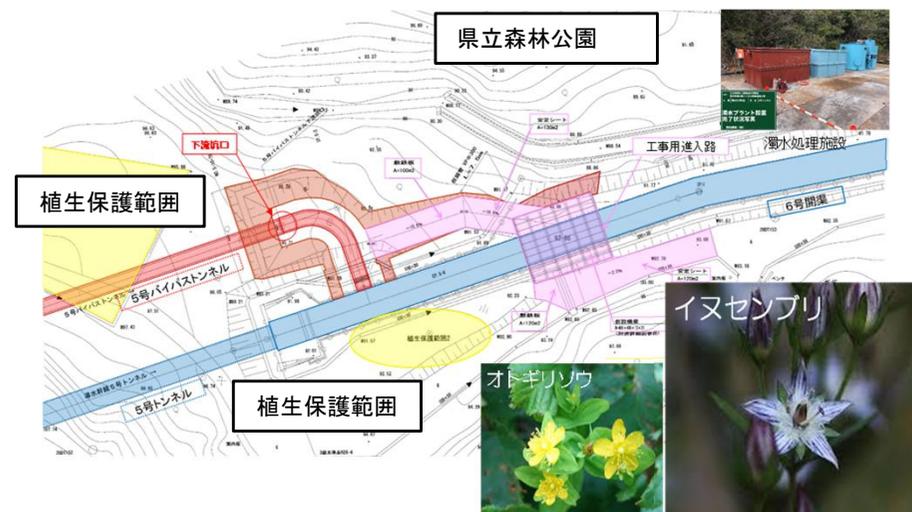
| 効果項目 | 区分 | 年効果 (便益)額 | 総便益額 | 効果の要因 |
|------------------|---------------|--------------|-------------|---|
| 食料の安定供給の確保に関する効果 | | | | |
| | 作物生産効果 | 4,963,686 | 164,755,979 | 用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での作物生産量が増減する効果 |
| | 品質向上効果 | 809,843 | 27,112,983 | 用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での生産物の価格が維持、向上する効果 |
| | 営農経費節減効果 | △196,530 | △6,579,691 | 用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果 |
| | 維持管理費節減効果 | △179,495 | △6,263,448 | 用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での施設の維持管理費が増減する効果 |
| 農村の振興に関する効果 | | | | |
| | 地域用水効果 | 33,090 | 1,107,829 | 用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での地域用水を利用する経費が節減する効果 |
| その他の効果 | | | | |
| | 災害時の復旧対策費軽減効果 | 92,657 | 2,192,845 | 耐震整備を実施した場合と実施しなかった場合での大規模地震の発生に伴う被害が軽減する効果 |
| | 国産農産物安定供給効果 | 286,347 | 8,173,425 | 用水施設の整備により農業生産性の向上や営農条件等の改善が図られ、国産農産物の安定供給に寄与する効果 |
| 合計 | | 5,809,598 | 190,499,922 | |

9. 環境との調和への配慮 -具体的な取組-

① 工事中の配慮(濁水対策の実施、希少植物への配慮)

工事を行う際、周辺的环境に配慮するため、工事の施工範囲は必要最小限とする。また、工事によって発生した濁水は濁水処理を行い、環境への影響(pH管理)の軽減に努めている。

また、導水幹線水路の5号トンネルの施工箇所は県立森林公園内であるため、工事の際は公園内の希少植物(イヌセンブリ)やその他植物の植生保護に配慮し、工事用道路を迂回させるなど環境への影響の軽減に努めている。



5号バイパストンネル工事の施工図

② 生物生息空間の保全(とまり場の整備)

周辺の動植物の生息環境や景観に配慮し、資材置き場や工事範囲を最小限とした。

モモジロコウモリ※のねぐらとなる4号トンネル及び5号トンネルの天端に、「コウモリピット」を設置し、コウモリのとまり場を整備。

※静岡県レッドデータで準絶滅危惧種に指定されている。



モモジロコウモリ



トンネル天端に設置したコウモリピット

9. 環境との調和への配慮

-具体的な取組-

③中央管理所における景観・環境対策

近隣住民の生活環境にも接することから、周辺との環境に違和感のない配色とした。

また、建屋は、FSC認証※されている天竜材を使用するとともに、炭素貯蔵（105.9 t-CO₂）に寄与するとして、「ふじのくに炭素貯蔵建築物認定制度」の認定を受けている。

※FSC認証：「森林が適切に管理されているか」を、第三者機関が全世界統一の基準に沿って審査、認証するもの。
Forest Stewardship Council：森林管理協議会



中央管理所



FSC認定証とふじのくに炭素貯蔵建築物認定証

④三方原用水に係る生き物環境の理解促進対策

三方原用水に係る生き物環境について児童が学習できる下敷きを関係機関と連携しながら作成・配布し、三方原用水二期地区の概要や歴史、農業用水の果たす役割並びに多面的機能としての環境保全などについて児童の理解促進に努めている。



(表)



(裏)

作成配布した下敷き

10. 事業コスト縮減等の取組 -用水路-

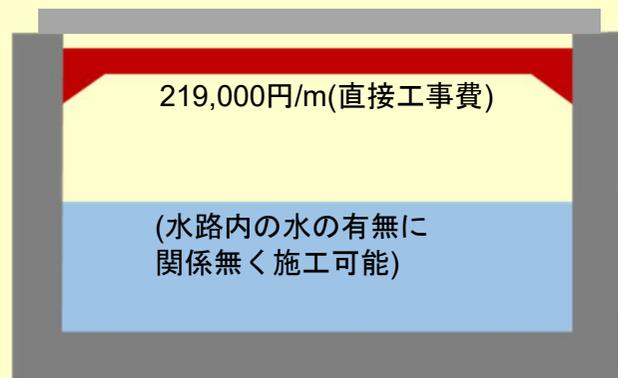
①開水路耐震対策工法におけるコスト縮減対策

➤工事名：7号開渠工(導水幹線水路その7-1)工事(H30)他

➤事業計画策定時

導水幹線水路の耐震対策工事は、上水、工水との共用区間であり長期間の断水が不可能なため、腹起し切梁支保工を計画。

腹起し切梁
支保工による耐震対策



➤事業実施時

腹起し切梁支保工から蓋構造への変更による耐震化対策を採用することで材料費及び施工費のコスト縮減が図られた。

蓋構造への変更による耐震対策



施工後写真

10. 事業コスト縮減等の取組 -用水路-

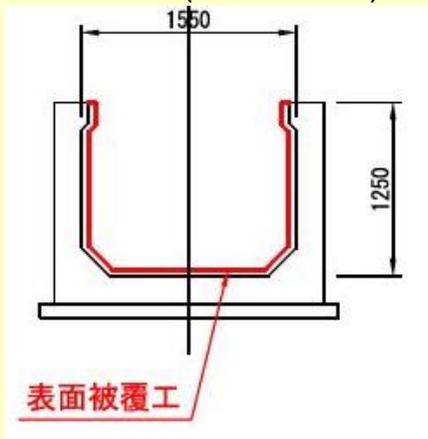
②水路の老朽化対策工法(表面被覆工)におけるコスト縮減対策

➤工事名：北部幹線水路補修その2工事(H28)他

➤事業計画策定時

開水路の老朽化対策には、施工に係る断水可能期間が限られることから、仮廻し水路＋無機系表面被覆工法を計画。

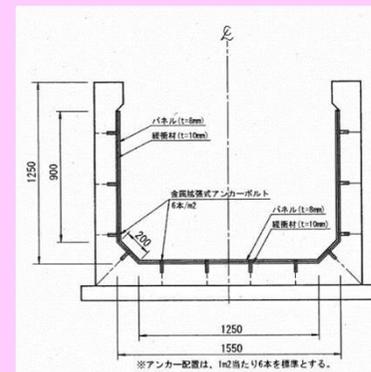
無機系表面被覆工法
＋仮廻し水路
191千円/m(直接工事費)



➤事業実施時

養生期間が必要な工法より短期間での施工が可能なパネル工法を採用した。パネル工法の採用により仮廻し水路が不要となることから、全体としてコスト縮減を図られた。

パネル工法
107千円/m(直接工事費)



表面被覆(アンカー固定式パネル工法)による老朽化対策

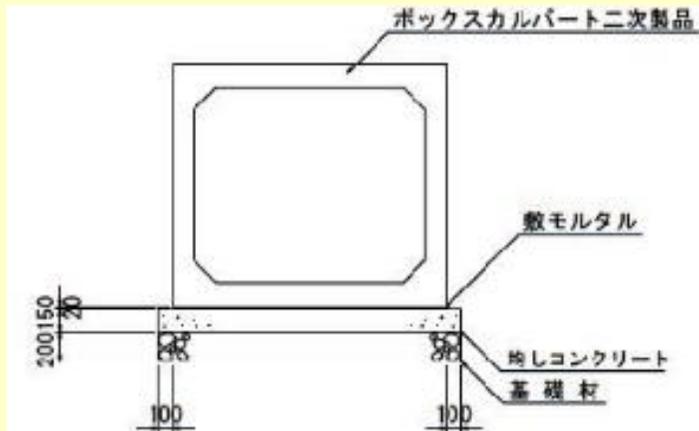
10. 事業コスト縮減等の取組 -用水路-

③水路の老朽化対策工法(管挿入工)におけるコスト縮減対策

➤ 工事名：北部幹線水路補修その4工事(その2)(H30)他

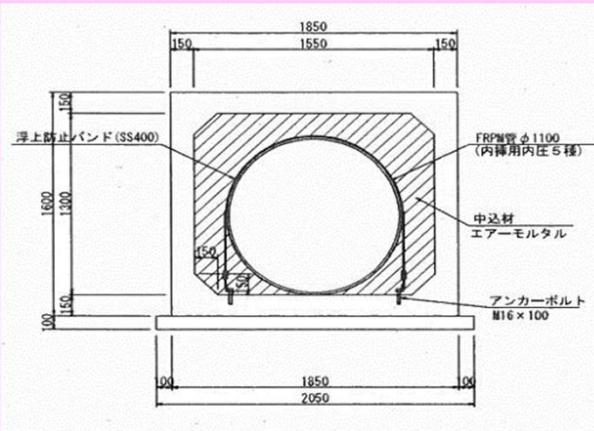
➤ 事業計画策定時
暗渠部の老朽化対策には、布設替えを計画。

布設替え：386千円/m(直接工事費)



➤ 事業実施時
実施設計による精査の結果、既存施設の撤去及び開削が不要となるFRPM管挿入工を採用することで、工事期間の短縮及び撤去費用のコスト縮減が図られた。

管挿入工：254千円/m(直接工事費)



サイホン暗渠の管挿入(FRPM管挿入)による老朽化対策

10. 事業コスト縮減等の取組 -水管理施設-

④水管理施設のクラウド化によるコスト縮減対策

➤工事名：水管理施設整備工事(R5～R7)

➤事業計画策定時

水管理施設の更新は、既設と同様にオンプレミス方式（中央管理所に親局装置やFAパソコン等を設置して監視制御する従来方式）を計画。



既設の水管理施設

1,494百万円(オンプレミス方式)
(イニシャルコスト+30年間のランニングコスト)

➤事業実施時

クラウドサーバを活用したシステムが他地区でも導入が進んでいることを踏まえ、土地改良区に施設の操作状況を聞き取ったうえで、クラウド方式の採用を検討し、イニシャルコスト、ランニングコスト共に優れているクラウド方式を採用することで、コスト縮減が図られた。

| 設備名称 | 取得日時 | 設備状態 | 電線状態 | 水位 | 流量 | 開度 | 全開 | 全閉 | 故障 |
|------------|---------------------|------|------|--------|-------------|------|----|----|----|
| ポンプ | | | | | | | | | |
| 設備名称 | 取得日時 | 設備状態 | 電線状態 | 水位 | 流量 | 開度 | 全開 | 全閉 | 故障 |
| 三浦 | 2025/02/14 15:20:00 | 異常 | | | 17.0 m³/sec | 20% | | | |
| 二重弁 | | | | | | | | | |
| 設備名称 | 取得日時 | 設備状態 | 電線状態 | 水位 | 流量 | 開度 | 全開 | 全閉 | 故障 |
| 三浦 | 2025/02/14 15:20:00 | 正常 | | 3.16 m | 0.04 m³/sec | 20% | | | |
| 三浦 | 2025/02/14 15:20:00 | 全開 | | 3.16 m | 0.00 m³/sec | 0% | | 全閉 | |
| 山手 | | | | | | | | | |
| 設備名称 | 取得日時 | 設備状態 | 電線状態 | 水位 | 流量 | 開度 | 全開 | 全閉 | 故障 |
| 山手 | 2025/02/14 15:20:00 | 異常 | | 2.04 m | 0.00 m³/sec | 19% | | | |
| 山手 | 2025/02/14 15:20:00 | 全開 | | | 0.21 m³/sec | 100% | 全開 | | |
| 山手 | 2025/02/14 15:20:00 | 全開 | | | 0.00 m³/sec | 0% | | 全閉 | |
| 山手 | 2025/02/14 15:20:00 | 異常 | | | 0.42 m³/sec | 2% | | | 全閉 |
| 山手 | 2025/02/14 15:20:00 | 全開 | | | 0.00 m³/sec | 1% | | 全閉 | |
| 山手 | | | | | | | | | |
| 設備名称 | 取得日時 | 設備状態 | 電線状態 | 水位 | 流量 | 開度 | 全開 | 全閉 | 故障 |
| 山手 | 2025/02/14 15:20:00 | 全開 | | | 0.00 m³/sec | 100% | 全開 | | |
| 山手 | 2025/02/14 15:20:00 | 異常 | | | 0.04 m³/sec | 20% | | | |

クラウド管理PC画面

1,085百万円(クラウド方式)
(イニシャルコスト+30年間のランニングコスト(クラウド利用料込))

11. その他の取組

① 広報誌及びPR動画の作成、公開

不毛の地であった当該地域が、三方原用水により目覚ましく発展した現在に至るまでの歴史から、当該事業を通じてこれからの未来に向けたメッセージを表現したパンフレットを作成。パンフレットは事業所HPに公表するとともにあらゆる機会配布するなど積極的に広報に取り組んでいる。

また、浜松市を全国トップクラスの農業都市に発展させてきた本地区の紹介をPR動画にて公開。



YouTubeに公開しているPR動画

事業概要パンフレット

11. その他の取組

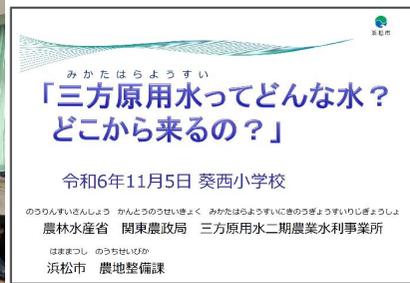
②地元小学校への出前講座

浜松市と合同で、地元の葵西小学校や都田南小学校の児童を対象に、三方原用水の歴史・役割並びに二期事業についての特別授業を実施し、本事業を通じて、水の大切さや施設の役割などを学ぶ機会を提供。

授業では、興味を持ってもらえるよう映像やクイズ形式を交え、本地域の偉人である金原明善翁や開拓工事の歴史についても説明し、三方原台地に水がもたらされたことで、全国有数の農産物の産地となったことを伝えている。



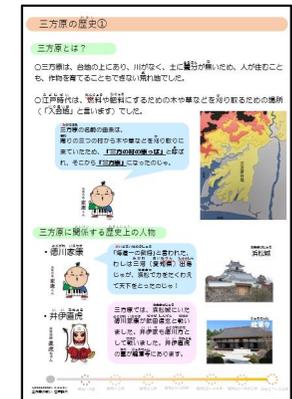
事業所職員による授業風景（葵西小）



事業所職員手作りの教材



事業所職員による授業風景（都田南小）



事業所職員手作りの教材



出典：令和6年11月7日 静岡新聞 地域西 15面